

これからの大和町議会のあり方ゼミナール

これまでのあり方ゼミナール

これからの大和町議会のあり方ゼミナール

開催内容等

| 回数 | 実施時期 | テーマ | 内容 |
|-----|----------------------------------|------------------------------|--|
| 第1回 | 11月20日(土) 午後1時30分～ | 地方議会の状況とこれから 議会の役割を知ろう | キックオフミーティング 開会セレモニー 基調講演セミナー「今後の地方議会のあり方を考える」 東北大学大学院 河村和徳 准教授 |
| 第2回 | 12月5日(日) 午後2時～ | あなたの思う議員像 | ワークショップ「議員・議会に求めるものは？」 ・「こんな議会・議員はイヤだ」 「議会は何をするところ？」「理想の議会・議員」 ・理想を語りあい共有 現状の把握 |
| 第3回 | 12月18日(土) 午後2時～ | 多くの人が地方議員をやって 良いと思えるためには？ | ワークショップ「課題の抽出・分析」 ・「議員をするための課題は何ですか？」 「議員になる前」「議員になった後」 ・分析及び分類 |
| 第4回 | 1月23日(日) 午後2時～ | あなたが町を変えられる？ 出来ることを考えよう | ワークショップ「立候補への課題を解決できるか」 ・グループワーク アイデア出し ・仮発表 グループ間共有 ・意見交換「解決策の深化」 |
| 第5回 | 2月13日(日) 3月26日(土) 午後1時30分～ | 私たちの議会 | あり方プロジェクト発表会 ワークショップ ・グループミーティング ・発表会(議員参加) ・意見交換 |

これからの大和町議会のあり方ゼミナール

名称:これからの大和町議会のあり方ゼミナール(第1回)キックオフミーティング

日時:令和3年11月20日(土)午後1時30分～

参加者:町内各種団体代表者 研究員 21名

内容:委嘱状交付

開会挨拶 高平議長

あり方ゼミナール説明 事務局

これからの大和町議会のあり方プロジェクトについて、大和町議会の現状について

日時:令和3年11月20日(土)午後2時00分～

名称:これからの大和町議会のあり方プロジェクトセミナー

参加者:研究員 21名 議員16名

内容:開会挨拶 高平議長

講演

演題:「今後の地方議会のあり方を考える」

講師:東北大学大学院 情報科学研究科 河村 和徳氏

閉会挨拶 槻田副議長

これからの大和町議会のあり方ゼミナール

名称:これからの大和町議会のあり方ゼミナール(第2回)

日時:令和3年12月5日(日)午後2時00分～

参加者:研究員 24名

内容:開会挨拶 高平議長

ワークショップ

テーマ「あなたの思う議員像」

◎前回の振り返り、ワークショップのルールとポイント 事務局

◎グループワーク

ファシリテーター:宮城大学 事業構想学群 平岡善浩教授

「こんな議会・議員はイヤだ」「議会は何をすところ?」「理想の議会・議員」

◎グループワーク内容発表 4グループから

◎講評:東北大学大学院情報科学研究科 河村和徳先生

これからの大和町議会のあり方ゼミナール

名称:これからの大和町議会のあり方ゼミナール(第3回)

日時:令和3年12月18日(土)午後2時00分～

参加者:研究員 22名

内容:開会挨拶 高平議長

ワークショップ

テーマ「多くの人が地方議員をやって良いと思えるためには？」

◎前回の振り返り

◎グループワーク

ファシリテーター:宮城大学 事業構想学群 平岡善浩

・課題の抽出

議員をするための課題は何ですか? 「議員になる前」 「議員になった後」

・グループワーク発表 4グループ

・発表された課題のまとめ作業

A:家族、地域、会社の理解・協力 B:自己の意欲や知識、能力 C:時間とお金

D:生活や仕事の変化 E:支援者や議会内での関係

Aは全般的な課題として考察

◎講評:東北大学大学院 情報科学研究科 河村和徳

これからの大和町議会のあり方ゼミナール

名称:これからの大和町議会のあり方ゼミナール(第4回)

日時:令和4年1月23日(日) 午後2時00分～

参加者:研究員 21名

内容:開会挨拶 高平議長

ワークショップ

テーマ「あなたが町を変えられる? 出来ることを考えよう」

◎前回の振り返り

宮城大学作成振り返り資料にて

◎グループワーク

ファシリテーター:宮城大学 事業構想学群 平岡善浩

○課題解決のアイデアを考えよう

・グループディスカッション

グループごとに課題の原因と解決策やアイデアの話し合い

・発表 グループ間共有

グループ発表し、他グループの研究員から意見やアイデアをもらう

◎講評:東北大学大学院 情報科学研究科 河村和徳

これからの大和町議会のあり方ゼミナール

名称:これからの大和町議会のあり方ゼミナール(第5回)

日時:令和4年3月26日(土)午後1時30分～

2月13日(日)開催予定 新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期

参加者:研究員 名

内容:開会挨拶 高平議長

ワークショップ

テーマ「私たちの議会」

◎前回の振り返り

宮城大学作成振り返り資料にて

◎グループワーク

ファシリテーター:宮城大学 事業構想学群 平岡善浩

グループごとに発表資料のまとめ

◎発表会 午後3時00分～

議員参加

課題グループごとに話し合われた課題についての解決策等を発表

◎講評:東北大学大学院 情報科学研究科 河村和徳

これからの大和町議会のあり方セミナー

発表会発表内容等

課題区分A 家族、地域、会社の理解・協力(全体課題)

課題区分B 自己の意欲や知識、能力

課題区分D 生活や仕事の変化

課題区分C 時間とお金

課題区分E 支援者や議会内での関係